

令和7年9月19日

矢巾町議会

議長 廣 田 清 実 様

矢巾町議会教育民生常任委員会

委員長 小 川 文 子



請 願 審 査 報 告 書

本委員会が、令和7年矢巾町議会定例会9月会議において付託を受けた請願の審査が終了したので、矢巾町議会会議規則第94条第1項の規定により、その結果を次のとおり報告する。

記

1 付議事件名

○7 請願第6号 : ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・教育予算の拡充を求める意見書採択の請願

請 願 者

盛岡市大通一丁目1番16号

岩手県教職員組合 いわて盛岡支部

支部長 青 野 大 祐

紹介議員

横 澤 駿 一

2 委員会開催年月日

令和7年9月8日(月)

令和7年9月11日(木)

3 出席委員

小 川 文 子

水 本 淳 一

ササキ マサヒロ

小笠原 佳 子

山 本 好 章

谷 上 知 子

4 審査経過

令和7年9月8日午後1時30分から、委員全員出席のもと、7請願第6号について、説明員として紹介議員である横澤駿一議員、参考人として岩手県教職員組合いわて盛岡支部 書記長 福士晴彦氏の出席を求め、請願趣旨の説明を受け、協議・検討を行った。

その後、同月11日午前10時30分から開催した委員会において、引き続き付託を受けた請願内容について慎重審議した。

5 審査結果

7請願第6号については、全会一致で採択すべきものと決定した。

6 審査意見

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・ヤングケアラー・性の多様性への配慮、そして、教職員の長時間労働や育休者・病休者の代替え措置の対応など解決すべき課題が山積しており、ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が必要と考えられる。

また、子どもたちの多様化が一層進展する状況においては、より一層きめ細やかな指導が求められており、小・中学校におけるさらなる学級編成の基準の引き下げも検討すべき課題である。

厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もあるが、地域によって教育条件に格差が生じている現状を踏まえると、国の責任において教育予算を確保し、どこに住んでいても質の高い教育を受けられる体制を整えることは、教育の機会均等という観点からも強く求められるところである。

以上のことから、本請願の趣旨は理解できるものと判断し、採択すべきものと決定した。